

念ずれば花開く

田川支部 相島直之

はじめまして、不沈艦・相島直之だ！ウィー！田川に配属されて 10 ヶ月が経ったが、今思い返しても密度が濃い日々だった。とりま（トリアス久山）辞令交付式の日、私はどこに配属されるか、楽しみでしうがなかった。なぜなら、別にどこに行きたいという希望が全くなく、どこに配属されても「やってやるって！」と越中詩郎のごとく意気込んでいたからだ。そう、つまりオレは平成維震軍なのだぁ！

田川土木初日（4月2日）に、前日に調べた地図を持って、朝早く実家の柳川から、家族に車で送ってもらったのがいい思い出だ。田川土木について速攻で維持係に配属されたのだが、初日は1日中座っているだけだったにも関わらず、1日が終わる頃にはすっかり廃人と化していた。それでも、「やってやるって！」と越中詩郎のごとく意気込んでいた。

ところで、今現在田川寮にて生活をしているのだが、この寮生活によって、私の県職員生活密度がものすごく高くなっていった。特出すべきは、高校の先輩でもある、K保田師匠である。師匠はいつも飲み連れて行ってくれる。飲んだときは色んな話を聞けるし、聞いてもらえるし、本当に勉強になることが多い。と思う。やっぱり飲みニケーションは大切なことだと考えさせられる。こんな時間が楽しいのである。しかし、アルコールが進んでくると、飲んでるメンバー全員が酔っぱらって、無茶振りの応酬が始まる。さらにアルコールが進むと、漢・K保田師匠の目はたちまち据わりだし、イレ込んだ競走馬ばりに、全盛期のタイガー・ジェット・シンばりに暴君と化し、全く手が付けられなくなるんスヨ！！そうなれば、雑誌「実話ナックルズ」で見るとようなエキサイティングな光景が広がることもしばしばある。でも、いつまでもそんな師匠のことが大好きだ！！と思う。

それと、私の県職員生活密度を高くしたものの…、それはスポーツである。みなさんご存知かとは思われるが、田川土木はスポーツが盛んで、昼休みや放課後には、野球・サッカー・駅伝の練習が行われている。昼休みは、近くの公園までみんなで走って行くのだが、最初にその光景を見たときは、冷静に「スゴいなぁ」と普通に尊敬してしまった。2年間のダラしないニート生活を過ごしたのを差し引いても、事務所の中では1番若いし、走るにしてもどうせみんなに勝つだろうと余裕をぶっこいていたが、想像を絶するくらい全員速く、断トツの最下位で悔しかった記憶がある。コノヤロー！（アントニオ猪木）走る以外にも、初めて野球に取り組んだり、得意のサッカーで練習隊長をしたり、毎日いい汗を流せている。運動は楽しい、運動をしているとたくさんのメリットがあることに昨日気付いた。ストレス発散になる、上の世代の人ともコミュニケーションを取れる、仕事の分からないことが聞きやすい関係になる、運動はもちろん運動以外にもたくさんの影響を受けられる、熱くなれる、目立てる、飲み会が増える、酸欠で倒れる等、数え上げたらキリがないほど程の良い面がある。まさか社会人になって、こんなに一生懸命にスポーツに打ち込むなんて思ってたわ。

最後に、メインの仕事について書こうと思う。維持係に配属されて、先輩みんなに言われたことがある。それは路線名を覚えることだ。田川土木に来て初日、管内図を渡された。地上最強、柳川の方向音痴のグレート義太夫と呼ばれていたくらいの方向音痴の私は、とりあえず北と南がマジで全く分からない。なんといっても、地図を読めない。田川の管内図を開いたとき、愕然とした。《なんで田川はポケモンの地図みたいに簡潔にできてないんだ！なんで、オレは【そらをとぶ】を使えねえんだ！！》路線名を覚える前に「地図を見る」という大きな壁が立ちはだかった。管内図にはもちろん路線名が書いてあるのだが、路線番号があったり、重複した路線があったり、移管した路線があったり、最初見たときは《絶対に覚えられないっすわ…》と弱気になった思い出がある。さらにその後、先輩方に現場に連れて行ってもらっても、初めての田川の土地・道、何度通っても全く頭に入っていない。自分の記憶能力や脳に何か異常があるんじゃないかとも思った。しかし、初めて現場を持ってから、少しずつではあるが路線名を覚えだした記憶がある。また、先輩からよく現場に連れて行ってもらうのだが、ほぼ毎回初めて聞く言葉が出てくる。鉄の側溝蓋を「グレーチング」と呼ぶのも驚いた。そんな調子で「～は何だったのですか」と車内で、その時分からなかった言葉・施工方法などを聞いているが、話を聞いて前にも同じことを聞いてしまった、ということもある。その都度で知識を身につけて、同じことを二度聞かないように気をつけていこうと思う。

そんなこんなで、今日も田川での生活を営んでいる。田川寮の漢・K保田さん、ドゥルン正岡子規さん、サコイさん、藤木・F・不二雄さん、ウノキャン砲（とくにご覧あれ）さんたちと北海道に3泊4日のスノーボー旅行に行ったり、土Mリーダー・ナカ工さんを筆頭に真性Mを開花され、いろんな場所のマラソン大会に参加したり、親交会旅行で酒に潰れてしまい、みんなから布団ごと廊下に運ばれたり、ここでは書ききれない程の楽しい思い出が日々作られている。

これから、嬉しいことも、大変なこともたくさん起こると思うが、その時々を楽しんで、長い県職、思う存分お満喫していこうと思う。



※田川県土整備事務所 道路維持課